奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和八年九月度　入賞句一覧

投句数　千六百　句

寺田　好子　選

特選

カマキリのすを見つけたよしんぷるだ　　大垣市　　ふじっか　はやて（小二）

カマキリの巣には、実に二百から三百個ほどの小さな卵が入っているとのことです。「巣」とはいいますが、正しくは卵を包む泡状のかたまりです。材質としては泡を固めたスポンジや発泡スチロールのような構造で、冬の寒さや乾燥・外敵から中の卵を守ります。これだけの働きをしているのに見た目は「しんぷる」。作者の発想が楽しいですね。

風鈴がやさしく歌う夏の午後　　三重県伊賀市　　小田　琴葉（小四）

今年から「酷暑日」の設定までできた、いかに近年の暑さが厳しいものであるかを象徴しています。地球温暖化は留まることを知らないかのようです。「風鈴」は平安時代頃、中国から仏教とともに伝来しましたが、庶民の間に定着したのは江戸時代以降です。軒下などに吊るし、風を受けて音を鳴らしますが、その音色を「やさしく歌う」と表したところが涼やかでよかったですね。

逆転だ消えてくボール夏の空　　大垣市　　中村　陸玖（小五）

野球の試合の接戦の場面です。攻めては攻められ、相手チームの方に得点が多い。まさに手に汗握る状況です。今度は味方チームの攻撃です。カキーンと快音を放ち、白球が夏空へ吸い込まれていったその瞬間、逆転を確信したのです。球場に沸き起こったどよめきまでが聞こえてくる作品になりました。

秀逸

夏の雨草がゆらゆらはしゃいでる　　大垣市　　栗原　啓（小五）

夏の空ラムネの泡に夢ひとつ　　東京都世田谷区　　上田　琉成（中二）

花火散る明るい光ととものかお　　大垣市　　浅岡　三奈（中三）

夏の夜見上げてみれば星の道　　大垣市　　中嶋　莉々奈（中三）

月見する月もあなたを見つめてる　　大垣市　　細川　美月（中三）

きらきらとスピードあげてながれぼし　　大垣市　　岡崎　良亮（小三）

くりさがしとげささるかもごようじん　　大垣市　　大野　華弥（小四）

チンチロと昆虫たちのミュージカル　　大垣市　　古さわ　しゅうや（小五）

汗にじむ左ばらいの筆づかい　　大垣市　　陸田　峻生（小五）

一番星広い舞台に輝けり　　大垣市　　日比野　由依（中三）

入選

運動会にぎったバトンねがいこめ	大垣市
ひまわりとドクターイエローよくにあう	大垣市
洋弓場したたる汗と弦の音	大垣市
炎天下球場震わす大歓声	大垣市
ラムネ飲むビー玉の音響く午後	大垣市
夏の空隅まで青い海のよう	大垣市
夏まつりやたいがたくさんうれしいな	大垣市
かきごおりこおりをけずるおとがなる	大垣市
あきのそらすずしいかぜがあそびだす	大垣市
かたつむりのろのろあるくおそすぎる	大垣市
虫の声たどっていくときえちゃうよ	大垣市
なつやすみいぬのゲージをくみたてた	大垣市
うんどうかいこえたからかにおうえんだ	大垣市
夏の夜に悲鳴が響く肝試し	大垣市
お父さん夜にかんぱいビール飲む	大垣市
トンボとぶはねをひらいてホバリング	大垣市
もみじがねいっぱい落ちて赤い道	大垣市
もみじとねいちょうですてきなカーペット	大垣市
手作りのかぼちゃランタンかざりつけ	大垣市
秋の月今日の形はどんなかな	大垣市

選者吟

きちきちの草に紛れてそれつきり	好　子

小中学生の部

まつだ　なな（小三）	大垣市
大江　美愛（中三）	大垣市
代　靖睿（中三）	大垣市
落合　叶翔（中三）	大垣市
大平　崇瑚（中三）	大垣市
桐山　習史（中三）	大垣市
ごしま　りりか（小二）	大垣市
早野　昊（小二）	大垣市
きむら　そうすけ（小二）	大垣市
たなか　みなと（小三）	大垣市
伊藤　謙（小三）	大垣市
山元　みおり（小三）	大垣市
ほりべ　けい（小四）	大垣市
田中　俊彰（小五）	大垣市
松井　翔平（小五）	大垣市
石づか　ゆいり（小三）	大垣市
かみくぼ　りの（小三）	大垣市
よしおか　ことは（小三）	大垣市
くまがい　みのり（小三）	大垣市
平野　まさ大（小三）	大垣市

